

栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第58号

H26年147(10)月発行



武雄市議会議員 宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

水道料金値下げで

県内市最下位 10位から7位に

10月1日検針の11月分から、値下げが実施される。今回の値下げの柱は、3つあり、

①1m当りの単価が290円から20円下がって270円になり、一般家庭、月20mでこれまでの、4968円から4568円に下げられる。

値下げに、必要な財源は、約1億円程度になるが、最近、年の黒字が1億3千万円程度ある事や利益積立金が約5億円残っている心配はないと思われる。

②使用水量、5m³10m³の基本料金一定を使用量に応じて料金が下がる。以前の考え方は、水道を利用する以上、一定の負担を平等にしようという基本料金も、核家族や1人住まいなどの増加で、変化せざるを得ない時代が、

③3つ目は、大口利用者に対する値下げで、600t以上は1t当たり250円になった。600tで

区切ったのは、企業が井戸を掘る時の水量から勘案したと言う。

【値下げの要因】

なぜ、値下げできたかを、一言で言えば、瀬ノ尾浄水場を建替えなかった事です。

旧武雄市の時、昭和40年代に水道に加入するなど水源確保の為に多額の起債をしました。水量確保を国の将来予測に従って一日一人当たり約600lを目標に増強。

しかし、現実には、3000l程度しか利用がなく、現在でも施設利用率は50%程度です。そんな事もあってか、国が水道料金の高い自治体に、高料金対策補助金を出しました。本来その金で、水道料金を下げれば良かったのですが、

当時、まだ西部広域水道が、建設途中で、建設費の今後の負担と、責任水量制と言って当初契約した

水量に対し、使っても使わなくても支払う事になる為に、更なる値上げも考えられ、1m当り300円台を続け日本一にもなった。そんな事から、国の高料金の補助金半分程度が黒字になった為に、毎年、利益積立金に積み立てた額が、15億円になっていた。その15億円を使って、瀬ノ尾浄水場建替える動きになったが、私はそれに反対する主張を続けて来たわけだ。また、その15億円は、国から高料金低減の為に来た金なので、それを市民に還元する型で値下げすべきと言って来ました。ただ、実際は、この15億円の内

10億円を、高利子の借入れ金の繰上げ返済に使うとの当時の部長の提案にはベストでなくてもベターと言うことで賛成した。結局、10億円の繰上げ返済が、利子負担を大幅に軽減し、その結果として、今回の水道料金の値下げの原資が確保できたと思う。一方、職員削減や管工事組合に委託するなどの合理化で生み出された、約1億円も利益になると思ったが、水道料金が下がり、国の高料金の補助金もなくなり、ちようど、その分、差し引き0状態。

一方、今回の値下げが、旧武雄市のおかげか?という点と違っていて、利益積立金で、瀬ノ尾浄水場建替えるなくても、良い水量を確保できるのは旧山内町や旧北方町の水道事業からの、余剰水を合わせ、必要水量が確保される計算になるわけで、合併のおかけと思う。現在、旧武雄市と各町の配水池に連絡管の工事を推進中。

大型事業のその後 新庁舎と文化体育館

庁舎問題について「最近情報のなかごたご」と市民から聞かれ、私もそう思ったので、一般質問で話した。しかし、特に具体的な話はなかったが、数日後に、追加議案で、新庁舎建設事業建物補償調査業務委託料1772万円が急に出された。要は、移転予定地の、JA旧武雄支所や斎場の補償額を算定する費用。

また、配置計画や機能の概要を作る、基本設計委託料3509万円も組まれたので、まずは、第一歩を踏み出した型だが、納期は年度末なので、市民に動きが見えるのはH27年度からと思われる。

【文化体育館】文化体育館についての話を総合すると、まず、今年中に、移転統合予定地を決める。文化体育館の事例として、嬉野市に、今年オープンした文化体育

東部開発地区に 新たにコメリとオートバックス進出か

合併前の旧武雄市の時、新たな発展の場所として、物産館より東側の農地を開発する「東部開発計画」が進められていた。計画は、42haと広大な計画でパイパスの両側は、商業ゾーンなどを設定。ただ、農業振興地域なため、国の開発許可を取るのが困難だったが、九電武雄営業所の東、4haを開放し、そこに立地が完了すれば、段階的に開発できるとの話。現在のアクロスプラザだが、全面立地している。しかし、新武雄市になって、その後の開発が進められないので、私は、市が、都市計画道を新たに作ったのを契機に市が積極的に開発すべきと提案。市は、民間主導を進めてもらうとの答え。ただ、アクロスプラザの時も、ダイワハウスが開発した

と思うが、やはり、市が地元との調整をしたり、農業水路の付け替えをしたり、積極的に関与したから、特にトラブルもなく早期の立地が進んだと思う。再度、市の積極的な関与と、市が東部開発をエリアに分けて、利用目的を設定しているがその見直しも提案した。一方、正式な発表はまだないが、新たに、パチンコ店の東側には、コメリパワーやオートバックスやジーユーが立地する話があり、国の開発許可を取る為に、市を通して進められているとの話で、良かったと思う。

学校のエアコン設置は 〇中学校完了で小学校は未着手

温暖化の影響もあり、市は、エアコンを学校に設置する方針で、H24・25年度で、市内5中学校の普通教室への整備が終了している。しかし、小学校は着手されていない。今議会、他議員の質問に答え、「現在、耐震の校舎の建替えを優先しているの、状況を見て進めたい」との返答。ただ、私は、武雄小など改築している所は、同時に設置した方が良いと思ひ担当者尋ねるとエアコン用の穴などは後付け可能な様にしているとの話。

しかし、学校改築は、ここ数年続けていて、その時に中学校には設置したわけで、財政的にできない状況では無いので、言い訳のよりに聞こえる。私としては、早く設置して、夏休みを縮小し、授業時間を確保し2学期制を3学期制にもどしても

目的は、食材置き場の温度の管理上の設置との事で調理員の職場改

1	佐賀市	3,456円
2	嬉野市	3,740円
3	鹿島市	3,888円
3	神崎市	3,888円
5	唐津市	4,326円
6	伊万里市	4,350円
7	武雄市	4,568円
8	小城市	4,669円
9	多久市	4,860円
9	鳥栖市	4,860円

アベノミクスTPP対策 農業大規模化の本気度見えた?

アベノミクスの目玉である農業改革の柱、また、TPPでの不利益をカバーする為の、国内農業の大規模化を実現する策として打ち出されたのが、「国による農地の集約化」。

これまでも、小作や個人間の貸借はあったが拡大しなかった。安倍首相は、これに国が介入することによって、大規模化を実現するとの方針で、私も、国が本気でやれば、日本の農業の大転換になると思いい注目していた。

ただ、その後の情報は少なく、まだ、未確定との市職員からの返答も多かった。

いよいよ、7月に貸借の募集があったが、成約は、0件との話。そこで、改めて調べると、事業は、国から委託を受けた、佐賀県農地中間管理機構が事業を行って

「がんばる交付金」

さざんか荘は、山内町の支所前にある、老人福祉センターで、高齢者(60才以上)の方が、入浴を中心としてくつろいでもらう施設で利用料は100円。

旧武雄市は、競輪場近くに日輪荘があり、保養村から温泉を引いて、利用料は、300円。

北方町には、四季の丘公園近くに長寿園があり利用料は200円。合併前からあり、利金の統一などサービスアップも必要な状況。

ところで、今回の本題は、山内町のさざんか荘のボイラーを、交換して、夜間電力でお湯を作る。エコキュート方式にして整備する。

一方、注目するのが、この財源で、「がんばる地域交付金」だが全額を国が負担する新制度で、武雄市の割当分は、3億5千万円で年度内に終了の事業にしか使えない国の経済対策。

学校の太陽光発電設置 市場価格の約3倍は エコなのか?

昨年、武雄中学校に設置した、10KW発電する、太陽光パネル設置に、約1100万円が計上され設置単価が、1KW当り、約100万円と市場価格より3倍近い高額の設置に反対した。それは、次の学校の設置に対する警鐘的意味合いでの行動だった。

一方、今年度も、山内中学校への太陽光設置の予算が、約1100万円組まれていた。私は当然今回は10KWでなく、20KWや30KWのパネル設置になつていくと思つた。

それは、H24年度に、市の補助金も、パネルの市場価格が下がつたとして、廃止されているし、国の補助金も終了した。

しかし、具体的に、たずねると今回も10KWの設置を計画しているとの話で、びっくりより怒り!

新聞やインターネットの広告に1KW当り、25万円程度は多数あり、特に太陽光に関心のない人にも、価格が解る状況の中、市民の公共事業に対する不信を招く。

今回、なぜそうなるかを調べると、建設課の設計単価に基づいて入札するので、市場価格で応札すれば、低入札で失格する可能性も一般質問で、設計単価の基準を聞くと、「県の単価」を参考にしているとの答え。そこで、県庁に太陽光設置の基準単価がそんなに高いのかをたずねると意外な返答が返つて来た。

県の担当者が言うには、

①県の基準単価というものは無く、国の単価に地域補正をかけたものだけ。また、これを使う義務はなく、状況を見た自治体の判断や裁量で行うことはできる。

②元々、太陽光システムには、国の基準単価はなく、あるとすれば、配線などの一般工事と共通する所だけ。との明確な返答。

市営住宅の 5年分の計画出る

市営住宅の計画がやっと提出され、そこに大野住宅(山内町)16戸をH28年度に、鉄筋4階建て2億6千万円で建替えること。

また、小原・高野住宅(北方町)70戸を、H29~30年度に鉄筋5階建て、12億円で移転し建替える事。そこで、疑問点を2点たずねた。

①以前、大野住宅は、地域に合った木造低層住宅と聞いていたが、なぜ鉄筋4階建てになったか。

②小原・高野の70世帯が他の場所に移転するには心がまえが必要で、想定する場所は?と問うたが、明確な返答はなかった。

一方、市が、購入を検討している、雇用促進住宅(朝日町)について、評価額の半額なので、市が購入して80戸を確保してはとの提案に、市長は民間の方が購入の動きがあり市での購入は否定された。

議員定数が 24から20に削減に

今議会、次回選挙における議員定数20人が議員提案でいきなり可決。

前回はあれだけ、話し合いをして最後の最後に26から24に削減。もともと、合併後、行政問題審議会(原会長)や区長会・老人会・婦人会からの、20人への議員削減要望があり、それから見れば、10年近くかかっていたの実現である。

今回、早期に可決したのは、伊万里での騒動もいくらかはあったと思うし、今回の選挙が、一人オーパーで、投票率が大きく落ちた事もあると思う。

しかし、一番は、ベテラン議員が議員提案の共同提出者を、どんな署名を求めたか、議論もなく、議員一人一人の判断を求めた形となり、議決をする前に議員参同者の署名が多数を占めていた。だから、今後更なる削減をするには、区長会などが、議員個人に参同署名を求めれば話は早い事が分つた。私は、3委員会6名の18人までは可能と思う。

全国学力テスト 公表と私の分析

市長の意向を受けたと思われる武雄市教育委員会の全国に先がけての点数公表も3年目となる。

私は、これで、教え方の上手な先生や、校長の有能さが明らかになり、競争激化になるのではないかとのも思いついた。

しかし、私が、データを表にして調べると、次の傾向を感じた。

①小規模の学校が総じて全国平均より上。(少人数での学習が鍵)

②もともと、点数の高い、学年は、学年が上がっても良い。

③中学校になると、全国平均を越える点を取る学校はわずか。

一方、各学校は、自主的に学力テストの点数と対策を公表しているが、なぜか見つけにくい方式。武雄市のフェイスブックの最新情報の8月28日をクリックしないと見れない形で、本当に公表を望んでいるのか疑問に思う。

空家対策は 住宅用特例 16廃止を

空家の放置対策は、最終的には、市が、代執行と言つて、本人の代わりに、解体する事となり、解体費用を所有者に請求するが、支払能力がなく、結果、市の税金で処理する事となる場合が多い。

だから、使用見込みが、無くなつた時点での対応が必要になる。

一方、住宅には、固定資産税が6分の1になる、住宅用特例(土地について)があり、住まなくて家が空家であれば、節税できるので建てたまま、放置していた方が有利な状況が空家の増加の一因。

そこで、勇気を出して、居住実体のない空家の、住宅用特例を縮小や廃止してはと、今議会提案。市長は、自公での国の論議を待ちたいとの答えだが、固定資産税は地方税であり、これこそ地方分権だと思つたのだが。

中学校への タブレット導入

中学校のスマイル学習(タブレット学習)の予算が出て来た。

1億1400万円と、ほぼ小学生配付と同額であるが、人数が小学生3千人に対し、中学生は1500人なので、1人当り予算は2倍と見れる。

ただ、サーバーや教材ソフトなども含まれていて、予算の見積もりでの想定は、小学生が7インチ(9×15cm)画面に対し、10インチ(12×22cm)程度に大きくなるぐらいの変化。

一方、機種などの選定は、前回と同じく、選定委員会、決まるので、市議としては見守るだけ。

ただ、この時点で、県立高校と共通のキーボード付きタブレットが良いと提案して来た私としては、実現できない状況でガッカリ!

また、利用する教科は、小学生と同じ、数学と理科らしい。もつと英語の発音など活用してはと思つた。単に予習の道具ではもつたない。

6年生	国A	国B	算A	算B
武雄				
御船		○		
朝日				
橘		○		
東川登	○	○	○	○
西川登	○	○	○	○
若木	○	○	○	○
武内	○	○	○	○
北方小	○	○	○	○
山内東				
山内西				

3年生	国A	国B	数A	数B
武雄中	74.2	40.8	58.3	52.6
川登中	76.1	46.3	62.7	58.2
北中	80.8	48.3	62.5	58.8
北方中	79.6	47.8	64.4	55.7
山内中	77.2	47.2	64.1	56.5
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

・全国学力調査の公表をわかりやすいように一部を一覧化したもの。
 ・Aは基礎 Bは応用
 ・○は全国平均点をこえたもの。
 ・くわしく知りたい方は、教育委員会FBを。